

## 授業イメージをつくりましょう

	小学校
教科・領域等	算数
単 元 名	10より おおきい かず
対 象 学 年	1年
実 施 場 所	教室
I C T活用授業の内容	<p>授業のねらい            数図ブロックに置き換えて数える操作を通して、「10とい            くつ」という見方に着目し、この見方をもとに20までの数の            数え方を理解できるようにする。</p> <p>授業の展開            ○プロジェクターで投影した情景図を見て、だるまがびょう            の数の数え方を考える。            ・指で数える。            ・ペンで印を付けて数える。            ・数図ブロックを絵の上に置いていく。</p> <p>○だるまがびょうがいくつあるかが一目で分かりやすい数図            ブロックの並べ方を考える。            ・ばらばらに並べる。            ・横に13個並べる。            ・10個と3個に並べる。</p> <p>○数図ブロックを「10といくつ」に並べると一目で分かり            やすいことから、「10といくつ」に着目した読み方を知            る。            ☆10のまとまりと3で、「じゅうさん」と読むことを知            る。</p> <p>○他の文房具についても、数図ブロックに置き換え、「10            といくつ」に並べ替えて数える。</p> <p>I C T活用のねらいと授業での位置付け            児童の教科書と同じ情景図をホワイトボードに投影し、その            上でペンを使って書いたり、マグネット（数図ブロック）を置            いたりすることによって児童の活動と同じことができるので、            意欲的な発表ができ、児童の理解をより図ることができる。</p>
活用する I C T	デジタルカメラ、プロジェクター